

【閉亀川の災害復旧工事について】

一昨年の7月豪雨で、大きな土石流が発生した広野・閉亀川については、京都府が安全対策工事を行うとして進められてきましたが、上流域に砂防堰堤（ダム）を整備するとした当初計画は、事業用地の承諾が得られないために、事業内容を変更して安全対策工事を進めることとなりました。

その初期工事として、この災害で出現した巨岩（6.5m×7.2m×3.5m）の破砕作業が、非火薬破砕材（ガンサイダー）を用いて進められてきました。近隣にお住いの皆さんには、破砕時に発生する大きな音や重機の騒音等で大変ご迷惑をおかけしてきましたが、ご理解をいただき、ありがとうございました。この度 無事に破砕作業が終了しましたこと、ご報告申し上げます。

今後、粉碎した石や土砂の搬出、河川の整備と工事が進みますが、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。



（災害直後の被災地）



（巨岩の破砕時）



（巨岩の破砕後）



（除去後の現在）